

## 海の地政学とアジア経済発展の“アキレス腱”

エネルギー不足の深刻なアジア経済を支える頼みの綱は中東・湾岸産の石油、ガスだが、その依存率は70%を大幅に超す勢いだ。しかし、ホルムズ海峡からマラッカ海峡を通過して南・東シナ海に至るオイルロード（シーレーン）上には、頻発する海賊・国際テロの襲撃事件に加えて、米中海軍の覇権拮抗、領海境界・大陸棚資源開発問題の未処理などシリアスな海の地政学的リスクがますます顕在化しているため、アジア経済発展の“アキレス腱”である。

### 澁谷祐（しぶたに・ゆう） 略歴

現職 早稲田大学特別研究員（アジア太平洋研究センター、エネルギー地政学）。

慶応義塾大学商学部卒（国際経営）。石油連盟、外務省・在クエイト日本大使館オイルアタッシェ（在バーレーン、カタール、UAE大使館兼務）、北極石油（株）、ジェトロ・ロンドンセンター石油資源部長、アジア太平洋・エネルギーフォーラム設立幹事研究主幹を経て、現在（有）エナジー・ジオポリティクス・ジャパン代表、英国ミドルイーストコンサルタント・インターナショナル（MEC）上席コンサルタントを兼務。

近著「アジア経済発展のアキレス腱」（編著・文真堂、08年）や「日中印の真価を問う」（編著・白帝社、10年）など多数。現住所；千葉県浦安市 趣味；テニス。shibutaniju@aol.com

